

序

東京都健康安全研究センターは、東京都の健康危機管理政策の科学的基盤を担う直営試験研究機関です。

近年、新型インフルエンザ等の新興感染症の発生や輸入食品の安全性等への懸念が高まる中、健康危機管理に対する社会的認識は飛躍的に高まり、安全安心を守る事への都民の要望は非常に強いものがあります。東京都の平成19年度重点事業においても「都民の健康を守る危機管理対策」が選定され、当センターの機能強化を行うこととしています。

健康危機管理というと、"Crisis Control"、すなわち危機が発生した際の緊急的対応と受け取られがちですが、本質的には "Risk Management" すなわち平常時からのリスクの早期発見、早期対応が重要です。当センターは、健康危機発生時には、一丸となって必要な試験検査に全力で取り組んでまいりますが、そのためには、日常的な試験検査で得られたエビデンス等を元に、新たな試験検査法の開発や健康リスクの分析等の調査研究活動を推進し、迅速、的確に危機に対応できる能力を強化する必要があります。更に、こうした技術・知見・検体等を蓄積し、未知のリスクに対応する基盤を強化しておく必要があります。当センターはこうした観点から、Evidence-basedな健康危機管理行政に資する研究に取り組んでおります。

この研究年報は、平成17年度一年間の調査研究成果をまとめております。研究課題の選定及び評価にあたっては、当センターの健康危機管理対策における役割・使命を充分認識した上で、所内及び有識者による評価会議での審査を行っております。関係の皆様方からも、年報をお読み頂き、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

平成19年1月

東京都健康安全研究センター所長 前田 秀雄